

## 薬剤師



## ジェネリック医薬品ってなんだろう？

薬剤部長 長谷川 功

最近、ジェネリック医薬品のテレビコマーシャルや新聞広告をよく目にしませんか？有名な芸能人がコマーシャルしていますよね。ジェネリック医薬品は後発医薬品とも言われますが、先発医薬品(これまで使われてきた新薬)の特許が切れた後に販売されるもので、これまで有効性や安全性が実証されてきた新薬と同等と認められた低価格なお薬です。ジェネリック医薬品のポイントは以下のとおりです。

**1 先発医薬品より安価で経済的**

複数のお薬を服用している方や、長期服用が必要な方ほど、自己負担の差額が大きくなります。低薬価であるジェネリック医薬品を選ぶと、新薬を選んだ場合に比べ自己負担が軽くなります。先発医薬品の研究開発には9年～17年程度の長い歳月と数百億円以上の開発費が値段に反映されています。これに比べてジェネリック医薬品はすでに有効性や安全性について先発医薬品で確認されていることから開発費やコストを大幅に抑えられ、その結果として薬の値段も先発医薬品と比べ3割～5割程度に安く設定されており、患者さんの自己負担の

軽減や医療保険の財政改善につながります。

**2 効き目や安全性は先発医薬品と同等**

ジェネリック医薬品が先発医薬品と同じレベルの品質・有効性・安全性を有するかどうかについて欧米と同様な基準で審査を行っています。ただし、薬の形や色や味は異なる場合があります。

**3 欧米では広く普及**

ジェネリック医薬品の数量シェアはアメリカで90%以上、ヨーロッパでも60～80%になっています。日本においては平成23年9月現在で約40%程度にとどまっています。

では、なぜ国がジェネリック医薬品を使用促進するのか？それはジェネリック医薬品の普及によって、一人ひとりの自己負担や国の財政・健康保険組合の負担などの削減、ひいては高齢化社会の進展によって増大を続ける国民医療費の抑制にもつながるためです。

ジェネリックの特徴やメリットを理解していただき、ぜひジェネリック医薬品をご活用ください。ジェネリック医薬品を希望する場合は、医療機関や薬局で医師や薬剤師に相談しましょう。

★中部ろうさい病院のホームページで、〈病院の情報〉〈フィリア・レター〉〈ろうさい病院つうしん〉がご覧いただけます。携帯電話からもアクセスできます。どうぞ、ご利用ください。  
URL : [www.chubuh.rofuku.go.jp/letter/](http://www.chubuh.rofuku.go.jp/letter/)